

公民4章1節 30問

1	形のある商品のこと	16	消費者が持っている権利
2	形のない商品のこと	17	訪問販売などで商品を購入した際、8日以内であれば契約を取り消せる制度
3	生産と消費という活動を通じて暮らしを便利で豊かにする仕組み	18	1994年、欠陥商品によって消費者が被害を受けた際の企業の責任を定めた法律
4	家族や個人といった消費生活を営む単位	19	2000年、契約上のトラブルから消費者を保護するための法律
5	支出のうち、食料品・衣服・娯楽・教育・医療などへの支出	20	2004年、消費者保護基本法を改正し、消費者の権利を明確化し、行政と企業の責任を定めた法律
6	支出のうち、税金や社会保険料などへの支出	21	2009年、消費者行政を一元化するために設置された役所
7	収入から消費支出と非消費支出を引いた残り	22	必要な知識を身に付け、環境に配慮した商品を選んだり、自己破産しないようにしたりする消費者
8	収入から非消費支出を引いた残り、実際に使える所得	23	環境保全や環境負荷低減に役立つ商品に添付されるラベル
9	求める量に対して財やサービスの量が不足した状態	24	生産された商品が消費者に届くまでの流れ
10	選ぶこと。特に、収入と時間には限りがあるため、欲しい物やしたいことがたくさんあっても、必要であるとされること	25	商品を、生産者などから仕入れ、他の業者に売る業者
11	電子データのやりとりで決済を行う決済サービス	26	商品を、他の業者から仕入れ、消費者に売る業者
12	カード発行会社が代金をたてかえることによって、後払いで商品を購入できるカード	27	流通を専門的に行い、商品の売場で利益を上げる産業
13	消費者が自分の意思と判断によって商品を購入することができること	28	商品が生産者から消費者に届くまでの流れを、より効率化すること
14	個人の意思で自由に契約をしてよいという原則	29	どの商品が、どの店で、どのような客に、いつ、いくつ、いくらで販売されたのかといった情報を収集できるシステム
15	健康被害・欠陥住宅・詐欺など、商品の購入をめぐる発生する問題	30	本来商品を生産・製造しない小売業者や卸売業者が、商品を生産・製造し独自ブランドとして販売する商品

公民4章1節 30問

1	財	16	消費者の権利
2	サービス	17	クーリング・オフ（制度）
3	経済	18	製造物責任法（PL法）
4	家計	19	消費者契約法
5	消費支出	20	消費者基本法
6	非消費支出	21	消費者庁
7	貯蓄 ^{ちよちく}	22	自立した消費者
8	可処分所得 ^{かしょぶんしよとく}	23	環境ラベル
9	希少性	24	流通
10	選択	25	卸売業者 ^{おろしうりぎようしゃ}
11	電子マネー	26	小売業者 ^{こうりぎようしゃ}
12	クレジットカード	27	商業
13	消費者主権	28	流通の合理化
14	契約自由の原則	29	POS（販売時点情報管理）システム
15	消費者問題	30	プライベートブランド

1		16	の権利
2		17	
3		18	法
4		19	法
5	支出	20	法
6	支出	21	
7		22	
8	所得	23	
9	性	24	
10		25	業者
11		26	業者
12		27	
13		28	
14	の原則	29	システム
15	問題	30	

公民4章1節 30問

1		26	
2		27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	